

尚絅学院大学 オープンアクセスについて

■オープンアクセスとは

オープンアクセス（以下、「OA」という。）とは、研究の成果物である学術論文等がインターネット上で公開され、誰でも無料で利用できる状態にあることをいいます。

研究成果をオープンアクセスにすることにより、著者はインターネット上で誰からでも無料で読むことができ、その論文等が引用される可能性が高まり、社会の発展に貢献することができます。

■学術論文等の即時オープンアクセス義務化

令和6年2月16日、統合イノベーション戦略推進会議により「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」が策定されました。この方針の中で、公的資金のうち2025年度から新たに公募を行う競争的研究費（科研費等）の受給者に対して、学術論文及び根拠データの学術雑誌への掲載後、即時に機関リポジトリ等の情報基盤へ掲載（即時オープンアクセス）」することが義務付けられました。

■オープンアクセスの種類

(1) グリーンオープンアクセス

学術雑誌等に掲載された論文を、大学等が構築・運用する機関リポジトリ等や自身のWEBサイトなどオンライン上で無料公開する方法です。

(2) ゴールドオープンアクセス

学術雑誌等に掲載された論文を、出版社のウェブサイトにおいて無料で公開する方法ですが、著者にはAPC（Article Processing Charge）と呼ばれる費用負担が必要となる場合があります。

■義務化の対象となる競争的研究費 /研究費制度

資金配分機関	制度名
日本学術振興会（JSPS）	科学研究費助成事業
科学技術振興機構（JST）	戦略的創造研究推進事業
日本医療研究開発機構（AMED）	戦略的創造研究推進事業 （革新的先端研究開発支援事業）
科学技術振興機構（JST）	創発的研究支援事業

■義務化の対象となる学術論文及び根拠データ

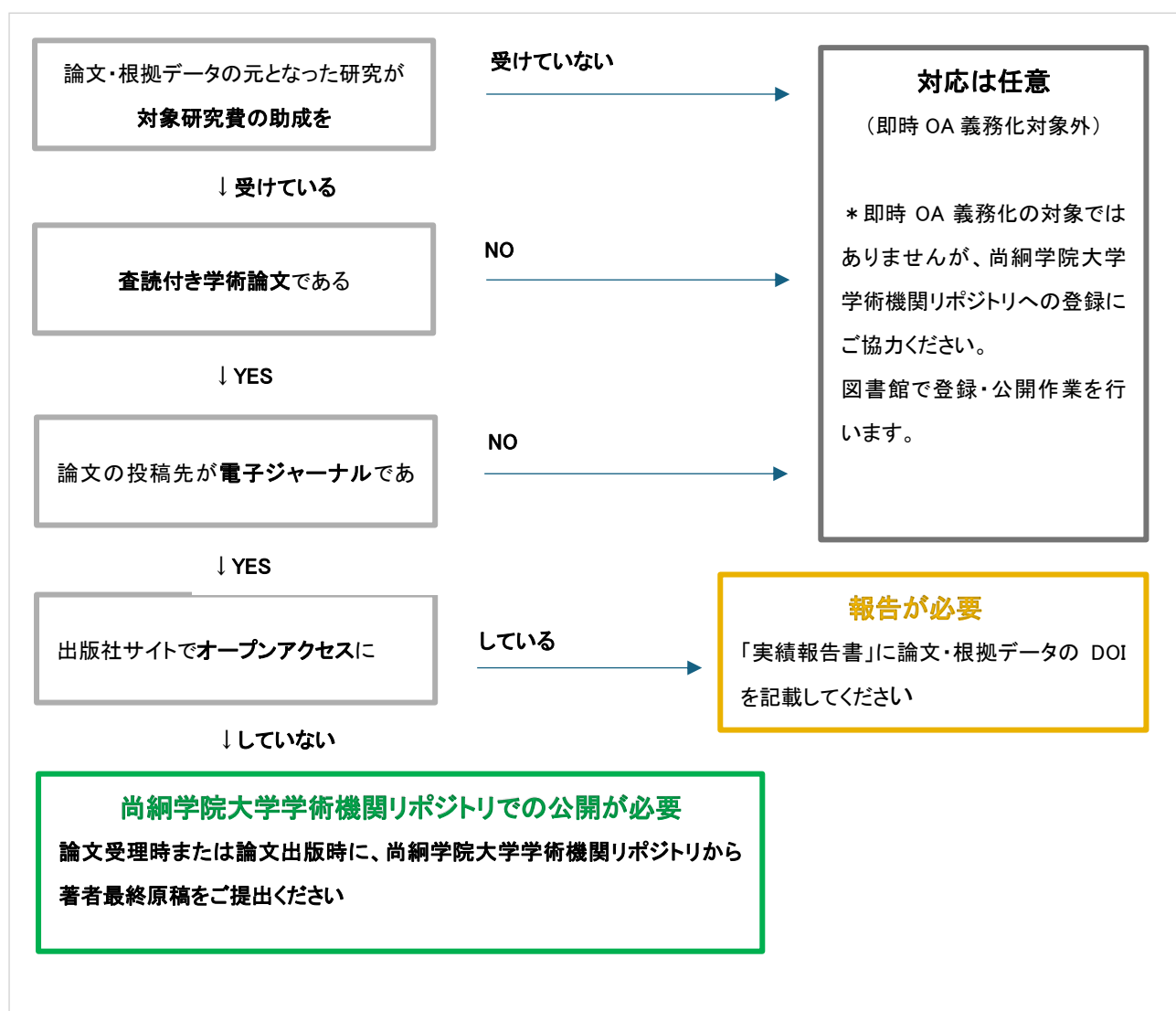
- ・電子ジャーナルに掲載された査読付き学術論文（著者最終稿含む）
- ・根拠データ：掲載電子ジャーナルの執筆要領、出版規程等において、透明性や再現性確保の観点から必要とされる公表が求められる研究データ。

■即時のオープンアクセス化が困難な場合の対応

即時公開無しの場合は実績報告においてその理由とともにご報告をいただきます。

特にペナルティはありませんが即時オープンアクセスの実施が困難な理由が解消された場合は、速やかに「機関リポジトリ等の情報基盤」への掲載を行うことが求められています。

■義務化対象確認チャート



■本学での対応/公開するサイト

本学では尚絅学院大学学術機関リポジトリという機関リポジトリを運用しており、本学に所属する研究者や学生は尚絅学院大学学術機関リポジトリを利用することで自身の論文を「グリーン OA」として公開することが可能です。

■お問合せ先

教育研究支援課

ksien@shokei.ac.jp